

女性に対する暴力の根絶を 求めて祈る

日時 2020年11月29日(日) 17時～

場所・東京教区聖アンデレ主教座聖堂



礼拝を「東京教区聖アンデレ主教座聖堂ホームページ」より動画配信いたします。
今年は公開での礼拝は行いません。

世界の「ジェンダー暴力と闘う16日間キャンペーン」に連帯し、11月25日(女性に対する暴力撤廃の国際デー)から12月10日(世界人権デー)までの期間中の11月29日より、女性と少女へのあらゆる形態の暴力が根絶されることを願って、礼拝の動画配信を開始します。どうぞお祈りの時をともにしてくださいますようお願いいたします。

〈問い合わせ先〉03-3431-2822

日本聖公会 管区女性に関する課題の担当者
正義と平和委員会・ジェンダープロジェクト
東京教区聖アンデレ主教座聖堂

「女性に対する暴力の根絶を求めて祈る」礼拝



司式者 司祭 セシリア 大岡左代子
(管区女性デスク/京都教区)

司祭 マリア・グレイス 笹森 田鶴
(東京教区)

説教 司祭 ロイス 上田亜樹子 (東京教区)

朗読 聖職候補生 スザンナ 中村 真希
(東京教区)

奏楽 アンナ 八代 紀子 (東京教区)

収録・編集 司祭 グビデ 市原信太郎 (中部教区)

司祭 フランシス 下条 裕章 (東京教区)

司祭 ステパノ 卓 志雄 (管区宣教主事/
東京教区)

侍者 ヤコブ 後藤 務 (東京教区)

独唱 聖職候補生 セシリア 高柳 章江
(東京教区)

配信 東京教区聖アンデレ主教座聖堂

前 奏

聖 歌 103 (2) 「うまやのあかり」

まね
招きのことば

司式者 はは ちち かみ
母であり父である神よ
あなたの^{あい}愛には^お終わりはありません。
わたしたちのいのちのただ中^{なか}であなたを知^しり
わたしたちはあなたのみ手^ての中に安^{やす}らぎを得^えます。

かみ こ しゅ
神の子なる主イエスよ
あなたはわたしたちと^{とも}共に
この世界^{せかい}の中で傷^{なか}つき、孤独^{こどく}な人^{ひと}びとと^{とも}共に^{くる}苦し^{くる}まれます。
それをわたしたちは感^{かん}じ取^とっています。
あなたの目^めは涙^{なみだ}の意^い味^みを知^しり
わたしたちがあなた^{むね}の胸^なで泣^なくとき
愛^{あい}と憐^{あわ}れみをも^もってわたしたちを見^みつめられます。

なぐさ ぬし せいれい
慰^{なぐさ}め主^{ぬし}なる聖^{せい}霊^{れい}よ
あなたはわたしたちを神^{かみ}へと近^{ちか}づけ
へいわ ^{はと}平和^{へいわ}の鳩^{はと}がわたしたちの心^{こころ}を満^みたし
わたしたちが打^うちひしが^がれても、わたしたちを癒^いやして^いてくださいます。

しまい きょうだい
キリストにある姉^{しまい}妹^{きょうだい}、兄^{きょうだい}弟^{しまい}のみなさん
わたしたちを^{あい}愛^{あい}し
わたしたちと^{とも}共に^{くる}苦し^{くる}み
わたしたちの心^{こころ}を^あ上^あげ
わたしたちが互^{たが}いに重^{おも}荷^にを分^わかち合^あうよう
わたしたちを^{うなが}促^{うなが}して^{うなが}くださる神^{かみ}と^{とも}共に^{とも}この礼^{れい}拝^{はい}をはじ^はめま^めしょう。

(オーストラリアの女性たちによる式文「すべての母そして父」より)

[ユニゾン]

1 う まじ や の あ から り そ
 2 (ダ) じれ デ の む 子 り しよ
 3 (さ) れく ど も み た か は く ししつ
 4 (ひ) く き は た か は く しつ

らう を て ら し - ほ しろ は も く しれ て いい
 に り た の み 子 - しゆら う ちら ふく なし て どりて いい
 い に に あ が り り - そほ は くは も く なし て
 い い に に あ が り り - い い し は さ け
 し は な け お - い し は さ け
 し は な け お - い し は さ け
 し は な け お - い し は さ け

A stable lamp is lighted
 Richard Wilbur (1921-)

ANDUJAR
 David Hurd (1950-)

ふ — う ま ゃ の わ ら — て ん を い だ
 ぶ — く ま ゃ の わ ら — て ん を い だ
 ぶ — か た し き む も の ら — て ん を い だ
 ぶ — く た き む も の ら — て ん を い だ

き て み や と な れ り —
 さ し し み や 子 む な え る —
 え て イ エ ス わ を こ ば え る —

1-3 (後奏)
 2 ダ
 3 さ
 4 ひ

7676 6676

悔い改めの祈り

あわ ぶん 深い 神よ、わたしたちは自分のことしか かんが せま なか くる
憐れみ深い神よ、わたしたちは自分のことしか 考えられない狭さの中にとどまり、苦し
み悩みのただ中なかにいる姉妹兄弟しまいきょうだいに目と耳めみみをふさぎ、沈黙ちんもくを守り、自分じぶんと関わりかかのない
ことのように生きようとしてきました。

どうぞ、そのようなわたしたちをお赦ゆるしてください。

わたしたちの心こころを砕くだき、悔い改くあらためて新あたらしく生きるものと造りかえてください。

わたしたちをとりなしてくださる主しゅイエス・キリストによって。アーメン

司式者 主しゅは皆みなさんとともに

会衆 また、あなたとともに

司式者 祈りましょう

生きる力ちからを与あたえてくださる神かみよ

わたしたちの社会しゃかいも教会きょうかいも

おほ 差別さべつと暴力ぼうりよくを黙認もくにんし、長い間なが受け入れてきました。

主しゅイエスはすべての人の尊厳ひとを尊そんげんばれ、いのちを回復とうとされます。

心こころと身体からだが傷きずついて苦くるしみ、痛いたみと怖おそれの中なかにいる人ひとびと

ことに女性じよせいと少女しょうじよたちに、

声こえをあげる勇気ゆうきを与あたえてください。

あなたの癒いやしによって

希望きぼうを見出みいだすことができるように導みちびいてください。

そしてわたしたちが小ちいさな声こえ、声こえにならない声こえに耳みみを傾かたむけ、

共ともに生きることができるよういに。

わたしたちと一緒いっしょに祈いのってくださる主しゅイエスのみ名なによって

一同 アーメン

(『わたしたちの祈り集 ころを神に』「女性」が教会をを考える会・東京/2019年改訂版より一部加筆)

詩篇 第35編 18～28

- 18 わたしは^{ひと}人びとの^{つど}集いであなたに^{かんしゃ}感謝し || ^{ちから}力ある^{たみ}民とともにあなたをたたえる
- 19 ^うだまし討ちをかける^{もの}者、^{にく}ゆえなくわたしを憎む^{もの}者が || ^{よろこ}ひそかに^あ喜び合うことを
^{ゆる}許さないでください
- 20 ^{かれ}彼らは^{へいわ}平和を^{かた}語らず || ^{やす}安らかな^{ひび}日々を送る^{おく}人に^{ひと}欺きを^{あざむ}企む^{たくら}
- 21 ^{くち}口を^{おお}大きく^あ開けて || 「^みそれ見たことか」とわたしをあざける
- 22 ^みすべてを見ておられる^{しゅ}主よ、^{みみ}耳を^{ふさ}ふさが^{ない}ないでください || ^{しゅ}主よ、^{とお}遠く^{はな}離れないで
ください
- 23 ^{かみ}わたしの^{しゅ}神、^おわたしの^め主よ、^め起きて^め目覚めて^{さば}ください || ^{うった}訴えと^{さば}審きの^{ため}ために
- 24 ^{かみ}わたしの^{しゅ}神、^{せいぎ}主よ、^{さば}あなたの^{おこな}正義で^{さば}審きを^か行い || ^{かれ}わたしの^{よろこ}ことで^{よろこ}彼らを^{よろこ}喜ばせ
ないでください
- 25 「^{のぞ}望みどおりだ」と^{こころ}心の中で^{なか}言^いわせ^{ない}ないでください || 「^こうまく^かやり^か込めた」と^{かれ}彼らに
^い言^いわせ^{ない}ないでください
- 26 ^{わざわ}わたしの^{よろこ}災いを^{もの}喜ぶ^は者は^{はじ}みな^は恥を^{たか}さらし || ^{もの}高ぶる^{はずか}者は^{はじ}辱めと^{つつ}恥で^{つつ}包まれる
- 27 ^{せいぎ}正義を^{よろこ}喜ぶ^{もの}者に^{こえ}声を^あ上げ、^{さけ}叫ばせて^さください || 「^{しもべ}僕が^{へいあん}平安である^{よろこ}ことを^{よろこ}喜ばれ
^{かた}る方、^{しゅ}主は^い偉大」と^いいつも^い言^いわせて^さください
- 28 ^{せいぎ}わたしは^{かた}あなたの^{ひる}正義を^{よる}語り || ^{さんび}昼も^{さんび}夜も、^{さんび}あなたを^{さんび}賛美する
^{えいこう}栄光は || ^{ちち}父と^こ子と^{せいれい}聖霊に
^{はじ}初めの^{いま}ように、^よ今も || ^よ世々に^{かぎ}限りなく ^{あーめん}アーメン

聖書 士師記 第19章22節～30節

朗読者 聖書は士師記 第19章22節から
(聖書はヘブライ語と日本語で朗読されます。)

^{かれ}彼らが^{まち}ぐつろいでいると、^{もの}町の^{いえ}ならず者が^{かこ}家が^と囲み、^{いえ}戸を^{しゅじん}たたいて、^{しゅじん}家の主人である
^{ろうじん}老人に^いこう^い言った。「^{まえ}お前の^{いえ}家^きに^{おとこ}来た^だ男^{われわれ}を出せ。我々は^{おとこ}その^し男^いを知^{しゅじん}りたい。」家の主人
^{かれ}は^で彼ら^いのところ^いに出て^{きょうだい}行って^わ言った。「^わ兄弟^わたちよ、^{わる}それは^{わる}いけ^いない。悪^{ゆる}いことを^{ゆる}しないで
ください。この^{ひと}人が^{いえ}わたしの^{はい}家^{あと}に入^{きょうだい}った^{ひどう}後^{ひどう}で、^{ゆる}そのような^{ゆる}非道^{ゆる}な^{ゆる}ふる^{ゆる}まいは^{ゆる}許^{ゆる}され^{ゆる}ない。
^{しよじよ}ここに^{むすめ}処女^{ひと}である^{そばめ}わたしの^{ふたり}娘^つと、^だあの^{はずか}人の^{はずか}側女^{はずか}がいる。この^{はずか}二人^{はずか}を^{はずか}連れ^{はずか}出す^{はずか}から、^{はずか}辱

め、思いどおりにするがよい。だが、あの人には非道なふるまいをしてはならない。」しかし、人々は彼に耳を貸そうとしなかった。男が側女をつかんで、外にいる人のところへ押し出すと、彼らは彼女を知り、一晩中朝になるまでもてあそび、朝の光が射すころようやく彼女を放した。朝になるころ、女は主人のいる家の入り口までたどりつき、明るくなるまでそこに倒れていた。

彼女の主人が朝起きて、旅を続けようと戸を開け、外に出て見ると、自分の側女が家の入り口で手を敷居にかけて倒れていたのので、「起きなさい。出かけよう」と言った。しかし、答えはなかった。彼は彼女をろばに乗せ、自分の郷里に向かって旅立った。家に着くと、彼は側女をつかみ、その身体を十二の部分に切り離し、イスラエルの全土に送り返した。これを見た者は皆言った。「イスラエルの人々がエジプトの地から上って来た日から今日に至るまで、このようなことは決して起こらず、目にしたこともなかった。このことを心に留め、よく考えて語れ。」

朗読者 聖書を終わります

説 教

沈 黙

一同しばらく沈黙を守る

アンセム

「Jesus Walked This Lonesome Valley」～イエスはこの寂しい谷を歩いて行かれた～

1. Jesus walked this lonesome valley, He had to walk it by Himself;
O, nobody else could walk it for Him, He had to walk it by Himself.
2. We must walk this lonesome valley, We have to walk it by ourselves;
O, nobody else can walk it for us, We have to walk it by ourselves.
3. You must go and stand your trial, You have to stand it by yourself,
O, nobody else can stand it for you, You have to stand it by yourself.



祈り

司式者 ^{いの} 祈りましょう

^{かみ いま} 神よ、今、わたしたちはあなたの^{まえ あつ}前に集められ、^{ぼうりよく さべつ}暴力と差別にさらされている
^{じよせい さけ ごえ みみ かたむ とし あた とく きよかい なか}女性たちの叫び声に耳を傾ける時を与えられました。特に、教会の中のセク
^{きず じよせい か てい ない ぼうりよく}シュアル・ハラスメントによって傷ついた女性、家庭内暴力にさらされている
^{じよせい いじゅうろうどうしや じよせい ないせん ふんそうちいき じよせい せんそう もと いあん ふ}女性、移住労働者の女性、内戦、紛争地域にいる女性、戦争の下で慰安婦と
^{じよせい さべつ へんけん}された女性、差別や偏見のゆえに、この世にいのちを送り出すことを許されな
^{じよせい}かった女性たちとともに、わたしたちはこれらの^{さけ こころ と}叫びを心に留め、よく^{かんが}考
^{かた つと あた しん}える務めを与えられていると信じます。心と身体に深い傷を受け、生きる力を
^{うば としき うしな}奪われ、時にいのちさえ失うこともあるこれらの人びとの^{ひと こえ}声をわたしたちが語
^{つづ ちから あた}り続ける力をお与えください。この世界を^{せかい へんかく のぞ ちから あた}変革する望みと力をお与えください。
^{ひと}そして、この人びとこそ、これからに向けて^{む きぼう かた ちから}希望を語る力をもつのだということを
^{さと}どうか悟らせてください。主イエスの^{しゅ な}み名によって。

一同 アーメン

司式者 ^{いま としき} 今この時にも、世界の^{せかい}各地で^{かくち たたか}戦いや暴力によって、人間の^{ぼうりよく}尊厳が^{にんげん そんげん おびやか}脅か
^{とみ ちから}されています。富と力あるものが「正義」を^{せいぎ}ふりかざし、^{まず よわ たちば}貧しく弱い立場の人びと
^{うば}のいのちが奪われ、^{さら}更なる犠牲者が^{ぎせいしや}出ようとしています。国と国、^{くに ちから ちから}力と力のぶ
^あつかり合いのはざままで、暴力に^{ぼうりよく お}押しつぶされる人びとの^{ひと こえ}声にならない叫びを、
^{しゅ}主よ、あなたが^き聞いてください。すべての^{たたか}戦いとめてください。わたしたちも
^{ぼそ}か細く、^{こえ}声にならない^き声を^{なが}聞き流すことがないように、^{みちび}導いてください。そして、
^{ぼうりよく れんさ た き へいわ つく だ ち え ゆうき}暴力の連鎖を断ち切り、平和を造り出す知恵と勇気をわたしたちにお与えくだ
^{ぼうりよく ふ あ ち}さい。暴力の吹き荒れる地のすべての人びとにいのちの^{ひと みち}道が^{かくりつ}確立されるように、
^{もち}わたしたちを用いてください。

一同 アーメン

司式者 ^{みなもと} すべてのいのちの源である神よ、あなたは^{かみ}裏切られ、^{うらぎ}十字架の^{じゅうじか}苦しみを^{くる}引
^{う し}き受け、死ぬことですべてのいのちを^{かいふく}回復してくださいました。神よ、傷つけ
^{と もと きず}られたすべてのいのちを取り戻し、傷つける者の^{もの}心の^{こころ}闇を^{やみ}照らし、すべての
^{ひぞうぶつ しゅ わかい いっち}被造物に、主にある^{あた}和解と一致をお与えください。

一同 アーメン

司式者 ^{しゅ}主イエス・キリストが^{おし}教えられたように^{いの}祈りましょう

一同 ^{てん}天におられるわたしたちの^{ちち}父よ、

^なみ名が^{せい}聖とされますように。

^{くに}み国がきますように。

^{こころ}み心が^{てん}天に行われると^{おこな}おり地にも^ち行われますように。

わたしたちの^ひ日ごとの^{かて}糧を^{きょう}今日も^{あた}お与えください。

わたしたちの^{つみ}罪をおゆるしてください。わたしたちも^{ひと}人をゆるします。

わたしたちを^{ゆうわく}誘惑におちいらせず、

^{あく}悪から^{すく}お救いください

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱える

^{くに}国と^{ちから}力と^{えいこう}栄光は、^{えいえん}永遠にあなたのものです アーメン

^{しゅくふく}祝福と^{はけん}派遣

司式者 ^{きず}傷ついた^て手をもって^{つか}仕えてくださるイエス・キリストが

会衆 ^{たが}互いに^{つか}仕え^あ合うよう ^{たす}わたしたちを助けてくださいますように

司式者 ^{きず}傷ついた^{こころ}心をもって^{あい}愛してくださるイエス・キリストが

会衆 ^{たが}互いに^{あい}愛し^あ合うよう ^{たす}わたしたちを助けてくださいますように

司式者 ^{きず}傷ついた^{あし}足をもって^{あゆ}歩んでくださるイエス・キリストが

会衆 ^{わたしたちの}旅路を ^{とも}共に^{あゆ}歩んでくださいますように

司式者 ^いわたしたちの行くところにいつも^{しゅ}主の^{しゅくふく}祝福がありますように

会衆 ^でわたしたちが^あ出会う^{ひと}人すべての ^{しゅ}主の^{すがた}姿を^み見ることができますように

聖歌 527 (傷ついた人の)

後奏

1 き ず つ い - た ひ - と の - い の - り
 2 き え つ り こ - と の - な い - つ み - と
 3 た す け を - も と - め て - あ つ - ま

に - こ た - え て し - ん じ て - う
 が - の お - も い し - み え じ ない - あ
 る - ひ と - び と す - く ない ぬ - し

た - が う - ま よ - い の ぞ く め - ぐ み
 す - へ の - お そ れ - れ に - く る - し む
 の - 手 は - ふ れ - あ い - の う - ち に

じゅ う じ か - に か か り - き ず - つ
 あ い は か - わ ら か ず に - きよ わ - さ
 身 と こ こ - ろ ら す べ て - す こ - や

We cannot measure how you heal
 John L. Bell (1949-), Graham Maule (1958-)

YE BANKS AND BRAES
 Scottish traditional

い - た み - 手 - で わ - れ ら の - い
 に - む き - あ - い こ - こ ろ の - い
 か - に も - ど し や - ぶ れ た - へ

の - ち を - は げ - ま し - さ さ - え る
 た - み に - い つ - で も - よ り - そ う
 い - わ を - い や - す せ - い れ - い よ

- 8888D (DLM)
- | | |
|---|--|
| <p>1 ^{きず}傷ついた人の ^{ひと}
 ^{しん}信じて疑う ^{うたが}
 ^{じゅうじか}十字架にかかり ^て
 ^{いのち}われらの命を ^{ささ}はげまし支える</p> | <p>^{いの}祈りにこたえて
 ^{まよ}迷い除く恵み
 ^て傷ついたみ手で
 ^{ささ}はげまし支える</p> |
| <p>2 ^き消えることのない ^{つみ}罪 ^{とが}咎の思い ^{おも}
 ^み見えない明日への ^{あす}
 ^{あい}愛は変わらずに ^{おそ}恐れに苦しむ ^{くる}
 ^あ弱さに向き合い ^{よわ}
 ^{こころ}心のいたみに ^むいつでもよりそう ^あ</p> | <p>^{つみ}罪 ^{とが}咎の思い ^{おも}
 ^{おそ}恐れに苦しむ ^{くる}
 ^{よわ}弱さに向き合い ^む
 ^あいつでもよりそう ^あ</p> |
| <p>3 ^{たす}助けを求めて ^{もと}
 ^{すく}救い主の手は ^{ぬし}
 ^み身と心すべて ^{あつ}集まる人々 ^{ひとびと}
 ^{やぶ}破れた平和を ^{せいれい}いやす聖霊よ</p> | <p>^{あつ}集まる人々 ^{ひとびと}
 ^あふれあいのうちに
 ^あすこやかにもどし
 ^{せいれい}いやす聖霊よ</p> |

1ヨハ4：9-10 ロマ7：24-25 マタ15：30-31